

2017年3月期 第2四半期 決算説明会資料

2016年11月15日



パンチ工業株式会社

(証券コード:6165 東証第一部)

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

本日の内容

1. 経営環境
2. 2017年3月期 第2四半期決算概況
3. 2017年3月期 業績予想
4. 中期経営計画
「バリュークリエーション2020」の進捗
5. 参考資料

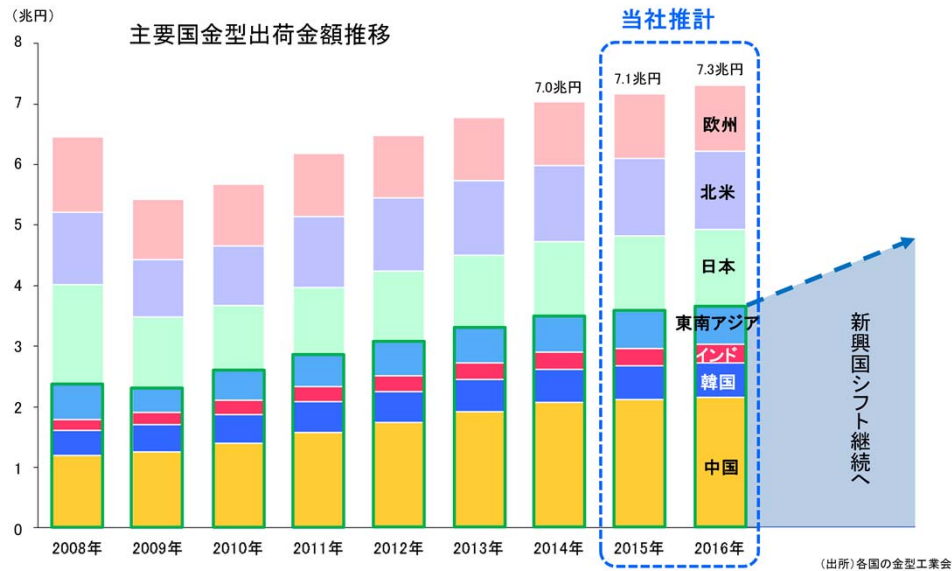
1. 経営環境

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

□経営環境です。

金型市場の予想(金額)

リーマンショック直後をボトムに着実に回復。緩やかながらも成長基調。

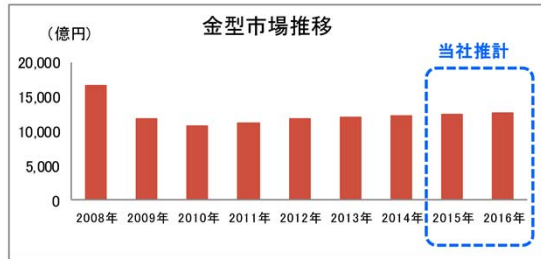


□世界の金型市場の動向です。

□リーマンショック直後の2009年を底に、その後、中国を中心とした新興国が牽引車となって着実に回復し、今後も中長期的には緩やかな成長基調が見込まれています。

□金型部品の市場規模としては、金型市場規模の約7%レベルと考えており、現在進行中の2016年は金型市場が7.3兆円、金型部品市場はその7%の5,100億円前後と見ています。

国内市場



個人消費の伸び悩みや海外情勢の不確実性の高まりによる為替相場等の変動が、企業収益や景況感の下押し圧力となっており、製造業の生産活動が弱く足踏み状態が続く。

顧客業界動向	自動車	熊本地震や軽自動車税見直しの影響等により生産が鈍化。
	電子部品	スマートフォン市場の成長鈍化や為替変動の影響により、受注が低迷。
	その他	中国向けの半導体が好調。
課題	リバースエンジニアリングによるお客様サービスの向上。	

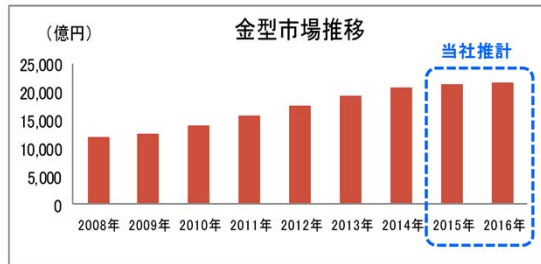
□国内市場です。

□個人消費の伸び悩みや海外情勢の不確実性の高まりによる為替相場等の変動が、企業収益や景況感の下押し圧力となり、製造業の生産活動が弱く足踏み状態が続いています。

□そのような中でも、国内の製造業は、AI やモノのインターネット(IoT)など、高度ITを活用した差別化や市場の拡大が進みつつあります。

□当社は、今年4月よりスタートした中期経営計画「バリュークリエーション2020」において、リバースエンジニアリングによるお客様サービスの向上に取り組んでいます。この事業は、お客様に密着した提案型の営業の強化だけでなく、新市場の開拓にもつながると考えています。

中国市場



経済成長減速の懸念はあるものの、第1～3四半期の国内総生産（GDP）成長率は6.7%となり、景気は安定成長を維持。自動車为好調。

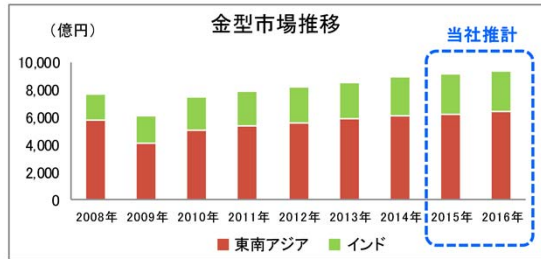
顧客業界動向	自動車	小型車減税終了前の駆け込み需要等もあり生産は引き続き好調。
	電子部品	地場の新興スマートフォンメーカーの台頭が著しい。
	その他	精密機器は堅調、家電は軟調推移。
課題	特注品強化のための生産体制再編。	

□中国市場です。

□足下では、経済成長減速の懸念はあるものの、第1～3四半期のGDP成長率は6.7%となり、景気は安定成長を維持しています。

□「中国製造 2025」のように、国をあげて製造業全般の競争力強化に取り組んでいることもあり、当社としてもこれに応えられるよう中国グループの技術力の底上げが必要であると考えています。今年10月に本稼働を開始したベトナム工場への生産移管を進めつつ、特注品の生産を強化していきます。

東南アジア・インド市場



【東南アジア】各国独自の経済政策や内需の支えなどにより、全体的に緩やかなペースでの経済成長が続く。

【インド】4～6月期の国内総生産(GDP)も7%台を維持。

顧客業界動向	自動車	生産台数は、タイ、インドネシアは堅調。マレーシアは低調に推移。
	電子部品	低価格帯スマートフォンの需要が引き続き旺盛。
	その他	家電が引き続き好調。
課題	グローバルソーシングによる受注拡大。	

□ 東南アジア・インド市場です。

□ 東南アジアは、個人消費が牽引役となり、全体的には緩やかなペースでの経済成長が続いていくと考えています。

□ 中期経営計画「バリュークリエーション2020」の中で取組んでいる「グローバルソーシング」(最適調達)により、東南アジアにおいても納期や製品の面で、お客様により最適なサービスをご提供できるよう取組みます。

□ インドは、4～6月期の国内総生産(GDP)も7%台を維持しています。モディ政権が進める経済構造改革による経済の活性化に引き続き期待しています。

The logo of Punch Industry Co., Ltd. is a large, stylized, gray geometric shape composed of several interlocking, rounded rectangular blocks. It has a complex, symmetrical design that resembles a stylized letter 'P' or a series of connected blocks.

2. 2017年3月期 第2四半期 決算概況

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

□2017年3月期 第2四半期の決算概況です。

第2四半期 決算ハイライト

為替変動の影響や国内景気の停滞が続いており、減収減益となったものの、中期経営計画「バリュークリエーション2020」における各施策は順調に進捗中。

売上	連結	連結売上高は、前年同期比99%、1億円減の178億円となった。
	日本	半導体、飲料関連は好調だったが、熊本地震の影響等による生産鈍化もあり自動車関連が微増にとどまり、前年同期比で横ばいの76億円となった。
	中国	引き続き自動車関連が好調なことに加え、高付加価値の戦略製品も伸長し、現地通貨ベースでは前年同期を大きく上回ったものの、為替変動の影響により、邦貨ベースでは前年同期比97%の85億円となった。
	その他	欧州、インドネシア、ベトナムが好調で、前年同期比101%の16億円となった。
利益		原価率が海外を中心に前年同期よりも良化したものの、売上減少による影響、研究開発投資などによる販管費の増加等により、営業利益は前年同期比87%の8億円となった。同時に、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益も前年同期を下回った。
ネット資金		ベトナム工場への投資等により、期首から4億円減少となった。

□2017年3月期 第2四半期の決算ハイライトです。

□2017年3月期 第2四半期は、第1四半期からの為替変動の影響や国内景気停滞が続いており減収減益となりました。

□日本は、半導体、飲料関連は好調でしたが、熊本地震の影響等による生産鈍化もあり自動車関連が微増にとどまり、前年同期比で横ばいの76億円となりました。

□中国は、引き続き自動車関連が好調なことに加え、高付加価値の戦略製品も伸長し、現地通貨ベースでは二桁成長でしたが、円高人民元安の影響により、邦貨ベースでは減収となりました。

□その他の地域では、欧州、インドネシア、ベトナムが好調に推移しました。

□利益は、原価率が海外を中心に前年同期よりも良化したものの、売上減少による影響、研究開発投資などによる販管費の増加等により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益ともに業績予想を下回りました。

決算概況

(単位:百万円)

	2016年3月期 第2四半期累計 実績	2017年3月期 第2四半期累計			
		期初予想 (5/11公表)	実績	前年同期差 (前年同期比)	期初予想差 (期初予想比)
売上高	18,030	18,050	17,846	▲183 (99.0%)	▲203 (98.9%)
営業利益	5.3% 960	5.4% 970	4.7% 841	▲119 (87.5%)	▲128 (86.7%)
経常利益	5.2% 931	5.4% 982	4.4% 791	▲139 (85.0%)	▲190 (80.6%)
親会社株主に帰属 する四半期純利益	4.0% 723	4.0% 731	3.1% 549	▲174 (75.9%)	▲181 (75.2%)

□決算数値の概要です。

□売上高は178億円で、前年同期比99%、1.8億円の減収となりました。

営業利益は8.4億円、前年同期比1.1億円の減益、

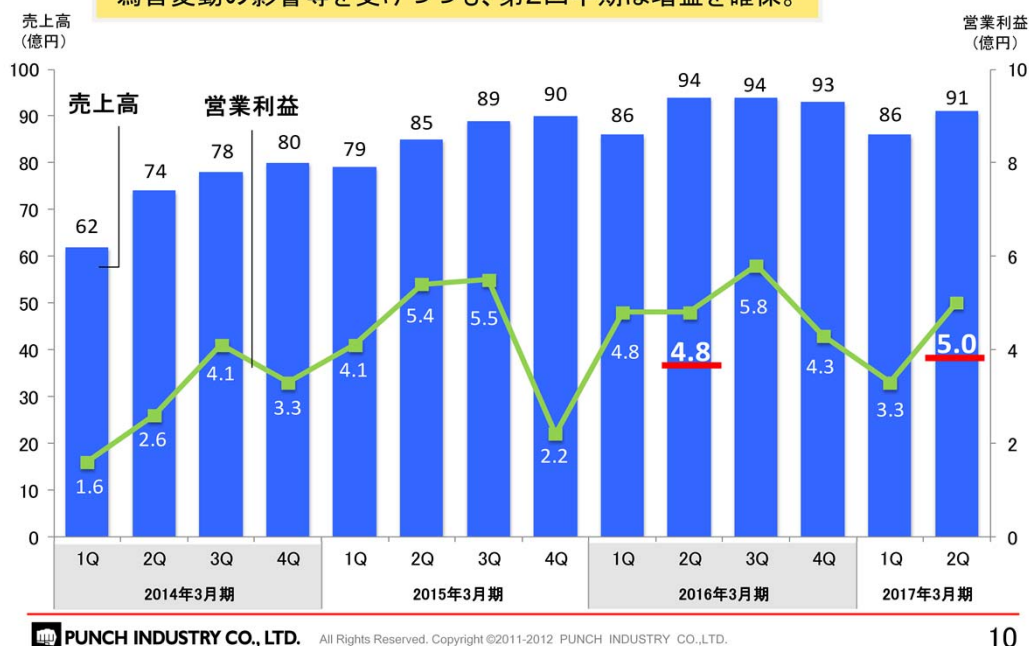
経常利益は7.9億円、前年同期比1.3億円の減益、

親会社株主に帰属する四半期純利益は5.4億円、

前年同期比1.7億円の減益となりました。

売上高と営業利益の推移

為替変動の影響等を受けつつも、第2四半期は増益を確保。



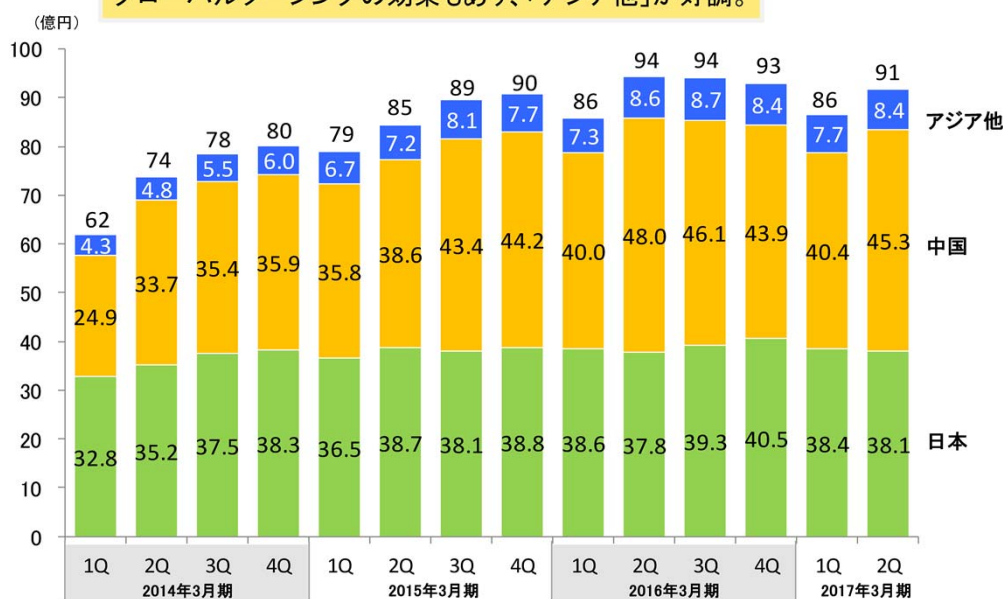
□四半期ベースの売上高と営業利益の推移です。

□日本は、円高の影響や国内景気の停滞が続き、苦戦が強いられる中でも、営業努力により踏ん張ったことや、中国では、新たに取組んでいる高付加価値の戦略製品も伸長し、その他においては、欧州などが好調に推移したことにより、売上高は91億円を確保できました。

□営業利益は、第1四半期で減益となりましたが、当第2四半期会計期間では増益を確保できました。中期経営計画「バリュークリエーション2020」の取組みを着実に実行することで、第3～4四半期も増益を目指し、更に第1四半期の出遅れを取り戻したいと考えています。

地域別売上高

グローバルソーシングの効果もあり、「アジア他」が好調。



PUNCH INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

11

□地域別の売上高です。

□日本は、半導体や飲料関連の好調が下支えとなり、当第2四半期会計期間では前年同期と比べると増収を確保できました。

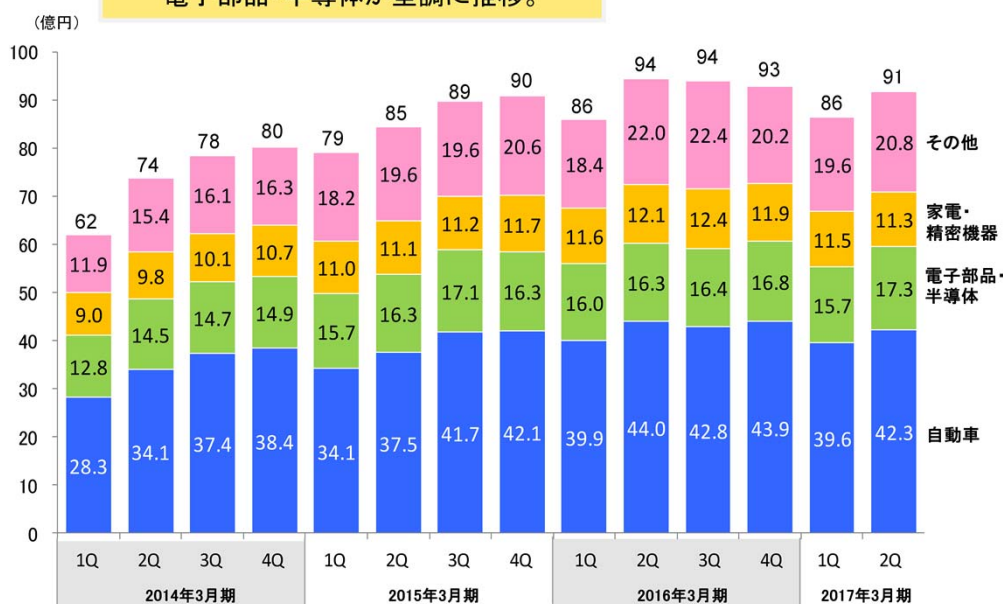
□中国は、現地通貨ベースでは伸長しているものの、円高人民元安の影響により、当第2四半期会計期間では前年同期と比べ、邦貨ベースでは減収となりました。

□「アジア他」は、欧州、ベトナム、インドネシアは好調を維持しているものの、円高の影響により、邦貨ベースでは横ばいの数値となりました。

□欧州向けが伸長している背景には、マレーシアに設置したグローバルソーシング部門の効果も見られます。

業種別売上高

電子部品・半導体が堅調に推移。



□業種別売上高のグラフです。

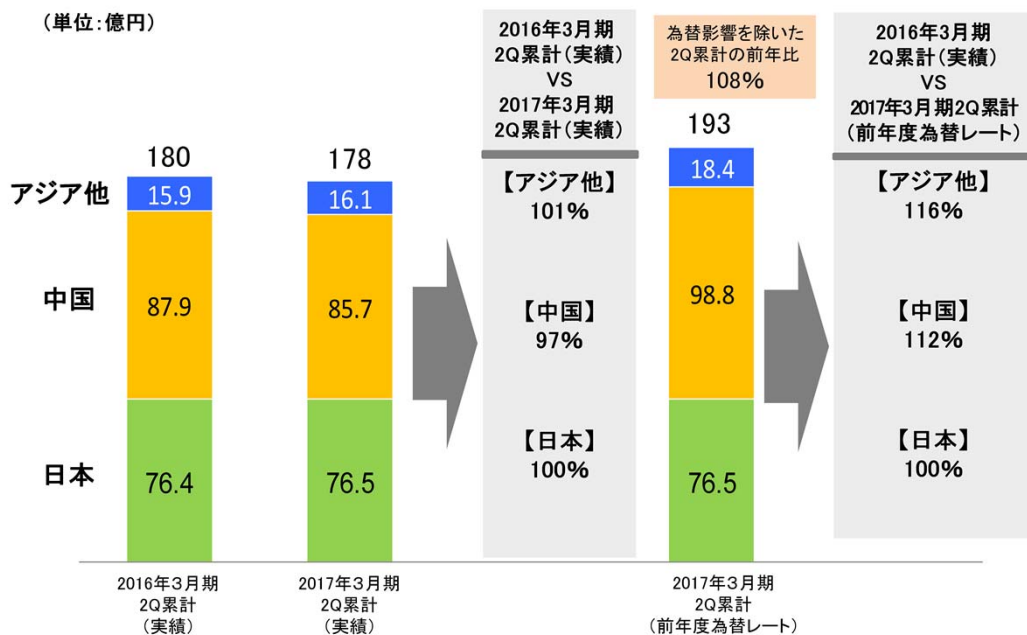
□日本の自動車関連は、熊本地震の影響等による生産鈍化もありましたが、営業の努力もあり、なんとか踏ん張ることができました。中国の自動車関連は好調を維持しており、現地通貨ベースでは前年同期を大きく上回りましたが、為替変動の影響により、邦貨ベースでは前年同期を下回りました。結果として、自動車関連全体の売上は軟調となりました。

□また、日本は半導体が、中国は電子部品や精密機器が好調に推移しました。

□「その他」の中でも、中国が高付加価値製品として注力している医療関連は堅調でした。日本の飲料関連もこれまでの営業の成果が着実に形になりつつあり、当第2四半期会計期間においても好調に推移しています。

地域別売上高～前年度為替レートベース概算～

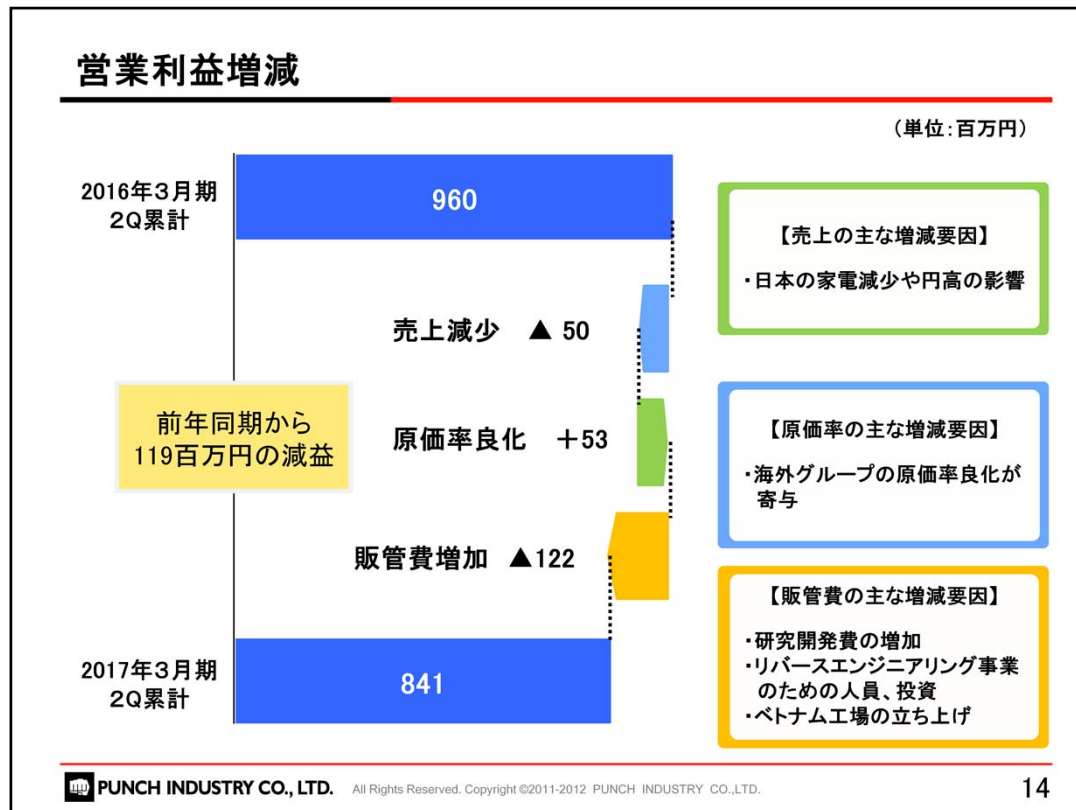
(単位:億円)



□当第2四半期の地域別売上高を前年度為替レートベースに置き換えたグラフです。

□中国やアジア他の地域では、現地通貨ベースの売上は伸びていますが、円高の影響で、邦貨ベースではあまり伸びていません。

□為替影響を除くと、中国は112%、アジア他は116%の伸びとなり、全体の売上高は、あと13億円ほど増加し、前年比は108%となります。



□営業利益の増減グラフです。

□前年同期実績の9.6億円から、日本の家電等の売上減少や円高の影響により、5千万円の利益減、海外グループの原価率良化により、5千万円の利益増となりました。

□研究開発投資等の増加に伴う販管費増により1億円の利益減となりました。

□その結果、当第2四半期の実績は8.4億円となり、前年同期に対し1億円の減益となりました。

財務状況

(単位:百万円)

	2016年3月期末	2017年3月期 第2四半期末	比較増減
総資産	27,337	27,596	258
総負債	13,338	15,010	1,672
うち有利子負債	5,429	6,385	955
純資産	13,999	12,585	▲1,414
ネット資金	▲2,108	▲2,527	▲418
自己資本比率	51.2%	45.6%	▲5.6pt
	2016年3月期 第2四半期累計	2017年3月期 第2四半期累計	比較増減
設備投資額(無形固定資産含む)	530	1,159	628
減価償却費(無形固定資産含む)	706	676	▲29

□財務状況です。

□総資産は、有形固定資産の増加により、275億円となりました。

□総負債は、長期借入金の増加により、150億円となりました。

□純資産は、為替換算調整勘定の減少により、125億円となりました。

□自己資本比率は、配当による自己資本の減少や総資産の増加により、45.6%となりました。

□設備投資額は、前年同期から6.2億円増加しています。ベトナム工場関連の投資に加え、日本のリバースエンジニアリング事業や中国の特注品強化のため積極的な設備投資を進めています。

3. 2017年3月期 業績予想

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

□2017年3月期の業績予想です。

2017年3月期通期連結業績予想数値の修正及び配当

(単位:百万円)

	2017年3月期			【参考】 2016年3月期 実績
	期初予想 (5/11公表)	修正予想 (11/10公表)	修正予想差 (修正予想比)	
売上高	37,000	35,700	▲1,300 (96.5%)	36,755
営業利益	5.4% 2,000	5.0% 1,800	▲200 (90.0%)	5.4% 1,986
経常利益	5.2% 1,935	4.8% 1,700	▲235 (87.9%)	4.5% 1,666
親会社株主に帰属 する当期純利益	3.8% 1,400	3.5% 1,250	▲150 (89.3%)	3.4% 1,249
2017年3月期 配当予想	中間 13円(実施) + 期末 13円 = 26円			

□2017年3月期 業績及び配当予想です。

□第2四半期に引き続き、第3四半期以降についても、海外事業における為替変動による影響や、国内事業における景気の停滞が見込まれるため、2017年3月期通期連結業績予想数値を修正しました。

□配当は、期初予想から変更はありません。中間は13円を実施し、期末も同じく13円、年間配当は26円を予定しています。引き続き安定的な配当を継続していくことを基本に考えています。

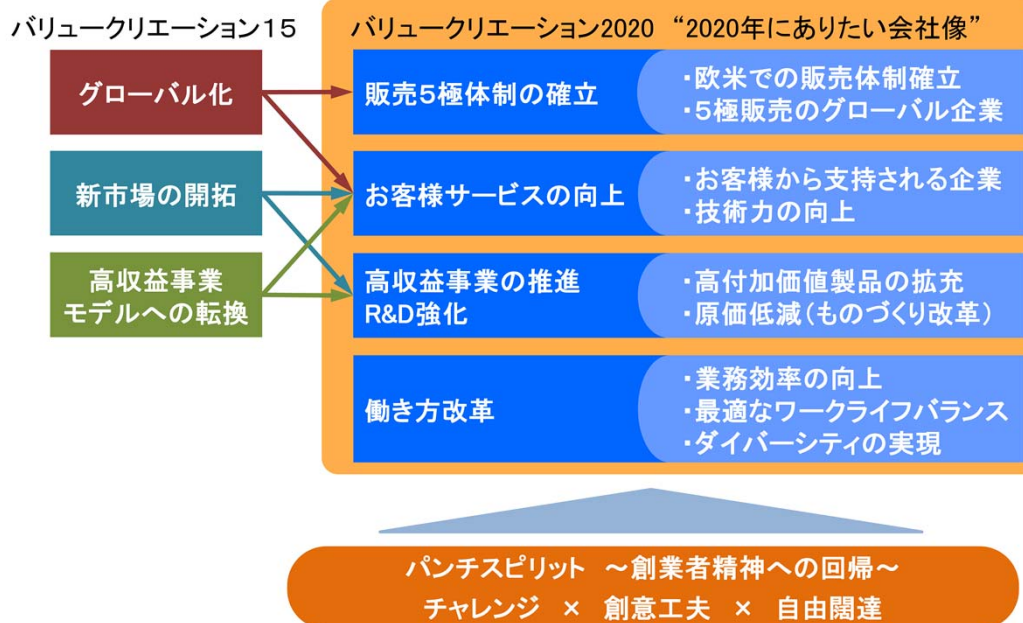


4. 中期経営計画 「バリュークリエーション2020」の進捗

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

□2016年4月からの5年間の事業計画を策定した
中期経営計画「バリュークリエーション2020」の進捗です。

「バリュークリエーション」の重点経営課題

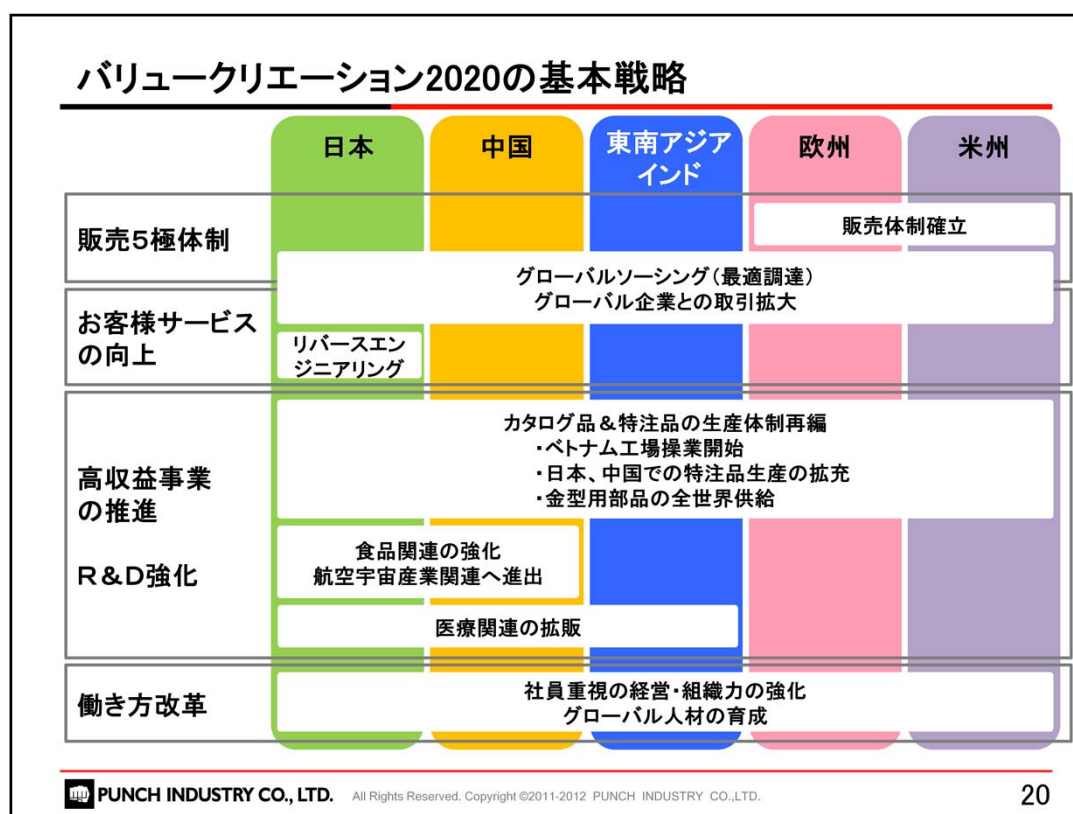


□「バリュークリエーション2020」の重点経営課題です。

□前・中期経営計画「バリュークリエーション15」の取組みが、「バリュークリエーション2020」での重点経営課題へ受け継がれています。

- ・販売5極体制確立(5極⇒日本、中国、東南アジア・インド、欧州、米州)
- ・お客様サービスの向上
- ・高収益事業の推進とR&D強化
- ・働き方改革

を大きな柱として、創業時への原点回帰を明文化した「パンチスピリット」をもって取組みます。



□「バリュークリエーション2020」の基本戦略です。

□次ページより、それぞれの重点経営課題への取組みの進捗状況について説明します。

販売5極体制

技術力と品質で商機のある地域・業種も見え、米国にグループ会社（販売拠点）設立。
アジア集中から、欧米エリアでの販売体制確立に向けた歴史的な第一歩。

グループ会社の概要

会社名

PUNCH INDUSTRY USA INC.

設立予定地

米国 イリノイ州

事業内容

金型用部品の販売

資本金

300千米ドル（約30百万円）

営業開始年月

2017年4月（予定）

<新設> USパンチ



□「販売5極体制」の進捗です。

□販売5極体制の確立への布石として、グローバル販売体制の拡充を企図し、
2016年11月に米国に販売拠点の設立を行い、2017年4月より営業を開始する
ことを決定しました。設立予定地はイリノイ州です。

□パンチグループの技術力と品質でポテンシャルのある地域・業種も見えてきて
いますので、特注品をメインに販売していきます。

□これまでも販売代理店を通じて取引を行っていましたが、米国においても当社
の強みの1つである「お客様密着型の営業体制」を実現することで、事業の幅も
奥行きも広げていきたいと考えています。

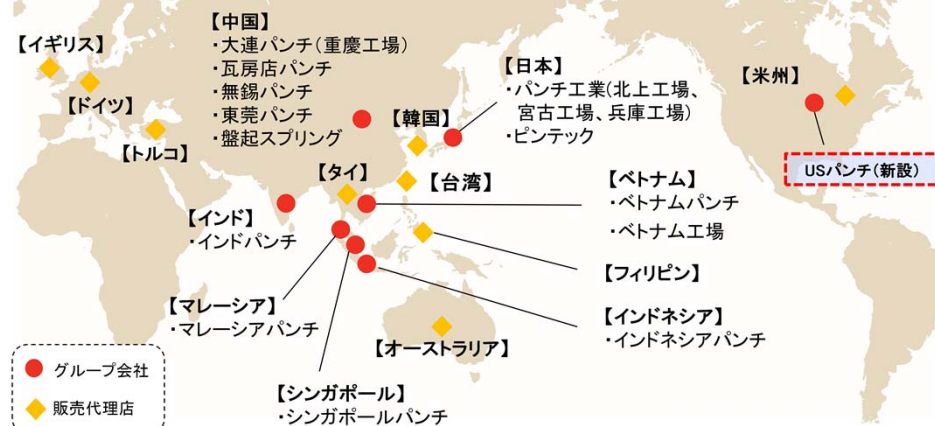
パンチグループのネットワーク

生産拠点数

日本	海外
4	8
カ所	カ所

販売拠点数

日本	海外
14	39
カ所	カ所



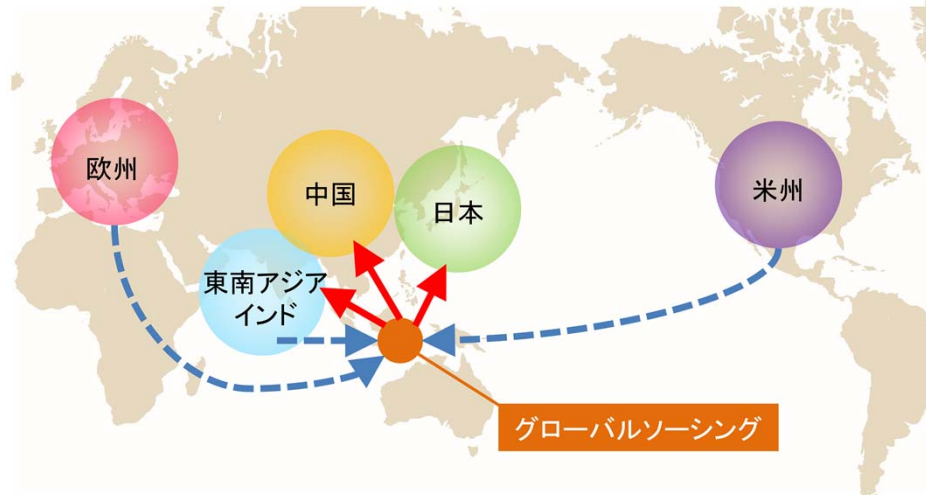
□今後、パンチグループのネットワークはご覧の通りになります。

□アジア集中から真のグローバル化に向け、一歩目を踏み出す、ということです。
まずは、2017年4月の営業開始に向け、パンチグループ一丸となって取組みます。

お客様サービスの向上①

グローバルソーシング効果により、欧州からの受注が拡大。

欧米・アジアからの受注  に対し、最適な生産拠点から調達 



□「お客様サービスの向上」の進捗の1点目です。

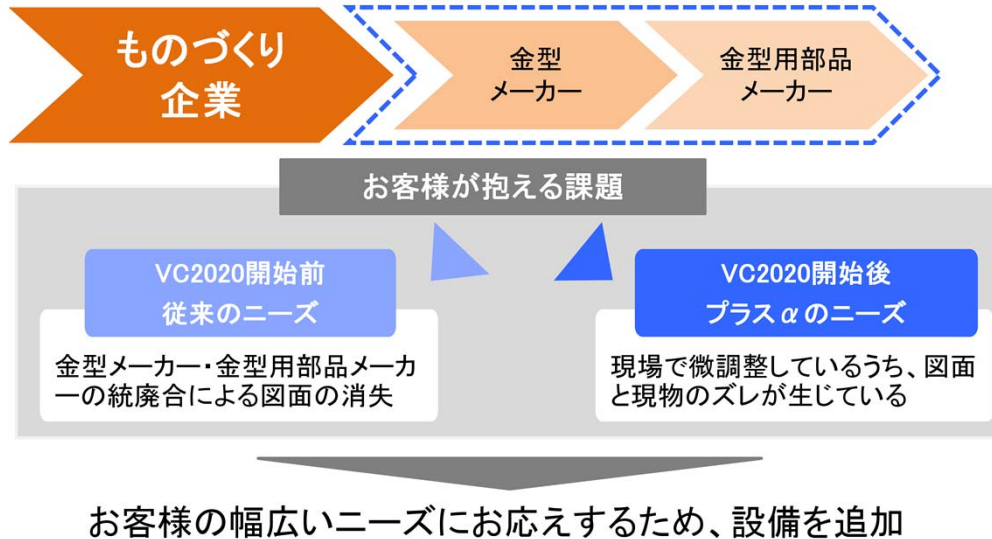
□欧米・アジアからの受注に対し、最適な生産拠点から調達する機能を持った「グローバルソーシング」という部門をマレーシアに設立しました。

□中国グループから東南アジアグループへ要員派遣を行い、見積り業務を「グローバルソーシング」に集約したことで、今まで以上に幅広い製品をお客様にご提供することができ、加えて内製化比率の向上、即ち収益性の改善にも繋がっています。

□地域別では特に欧州からの受注増に効果が表れています。来年営業開始予定の米国からの受注においても、将来的には、この「グローバルソーシング」を積極的に活用していく考えです。

お客様サービスの向上②

リバースエンジニアリングによるお客様の課題解決は順調なスタート。



□「お客様サービスの向上」の進捗の2点目です。

□リバースエンジニアリングによるお客様の課題解決の提案を進めています。

□事業開始後、金型用部品を現場で微調整しているうち、図面と現物のズレが生じてしまう、という課題もお客様が抱えていることが分かりました。これに対しても、現物を元にして金型用部品を再現して欲しいというご要望も多く、設備を追加しました。

□リバースエンジニアリングは、長年培ってきた当社の技術力への信頼感・安心感から「パンチ工業ならしっかりと部品を再現してくれるだろう」ということで、お取引して下さるお客様が多く、当社の強みを改めて認識しています。

□現在は積極的に展示会などに参加し、認知度向上にも努めています。製造業以外のお客様からご相談を頂くこともあり、今後の新市場開拓にも繋がる大きな可能性も有しており、じっくりと取り組みます。

高収益事業の推進

【投資による助走期間(2016～2018年度)】

STEP ①	■ベトナム工場操業開始	10月1日より本稼働開始
	■中国からベトナムへ生産移管	進行中
STEP ②	■中国工場内による生産移管	進行中
	■中国工場での特注品の生産強化	飲料関連等を強化中
STEP ③	ベトナム工場から日本工場へ、低原価の半加工製品を供給	

【狙い】

- 日本
カタログ品の原価率改善
- 中国
特注品の生産強化、収益力強化



□「高収益事業の推進」の進捗です。

□2016～2018年度までを「投資による助走期間」と位置付けており、最初のステップは、ベトナム工場操業開始と中国からベトナムへの生産移管です。

□昨年より建設を進めていたベトナム工場が、当初計画通り、2016年10月に本稼働を開始しました。これにより、中国からベトナムへの生産移管も進めており、第2ステップへと着実に移行しています。

□このベトナム工場は、IoTやモバイル端末の活用により、ペーパーレス化を推進するなど、パンチグループの次世代工場として、積極的なIT活用に取り組んでいます。

働き方改革

■＜働き方改革＞が目指すもの

★ワーク・ライフ・バランス

★ダイバーシティ

◆仕事を通じた「社員の幸福」の実現

◆生産性改善による「業績の向上」

◆社員が誇れる「世界のパンチ」へ

【パンチスピリット】

チャレンジ × 創意工夫 × 自由闊達

①制度・しくみ・ルールの改革

②オペレーション改革

③ツールの整備

④風土改革

□「働き方改革」の進捗です。

□私たちの「働き方改革」は、会社が社員に一方的に与えるのではなく、4,000名の社員一人ひとりのチャレンジで、仕事を変え、そして、その積み重ねで会社全体が変わっていくことを目指したものです。

□「ワーク・ライフ・バランス」と「ダイバーシティ」の最適化によって、「仕事を通じた社員の幸福」が実現でき、その結果として会社の業績が向上し、全社員が誇りに思えるような「世界のパンチ」になること、これが「働き方改革」が目指す姿です。

□それを実現するために、ここに掲げた4つの施策に取り組んでいきます。特に「オペレーション改革」には、全社員一丸となって、パンチスピリットを発揮して取り組んでいきたいと考えています。

■各資料につきましては、弊社Webサイトよりご覧ください。

◆決算短信

<http://www.punch.co.jp/ir/library/tanshin.html>

◆決算説明資料

<http://www.punch.co.jp/ir/library/setsume.html>

◆IRニュース一覧

<http://www.punch.co.jp/ir/2016/>

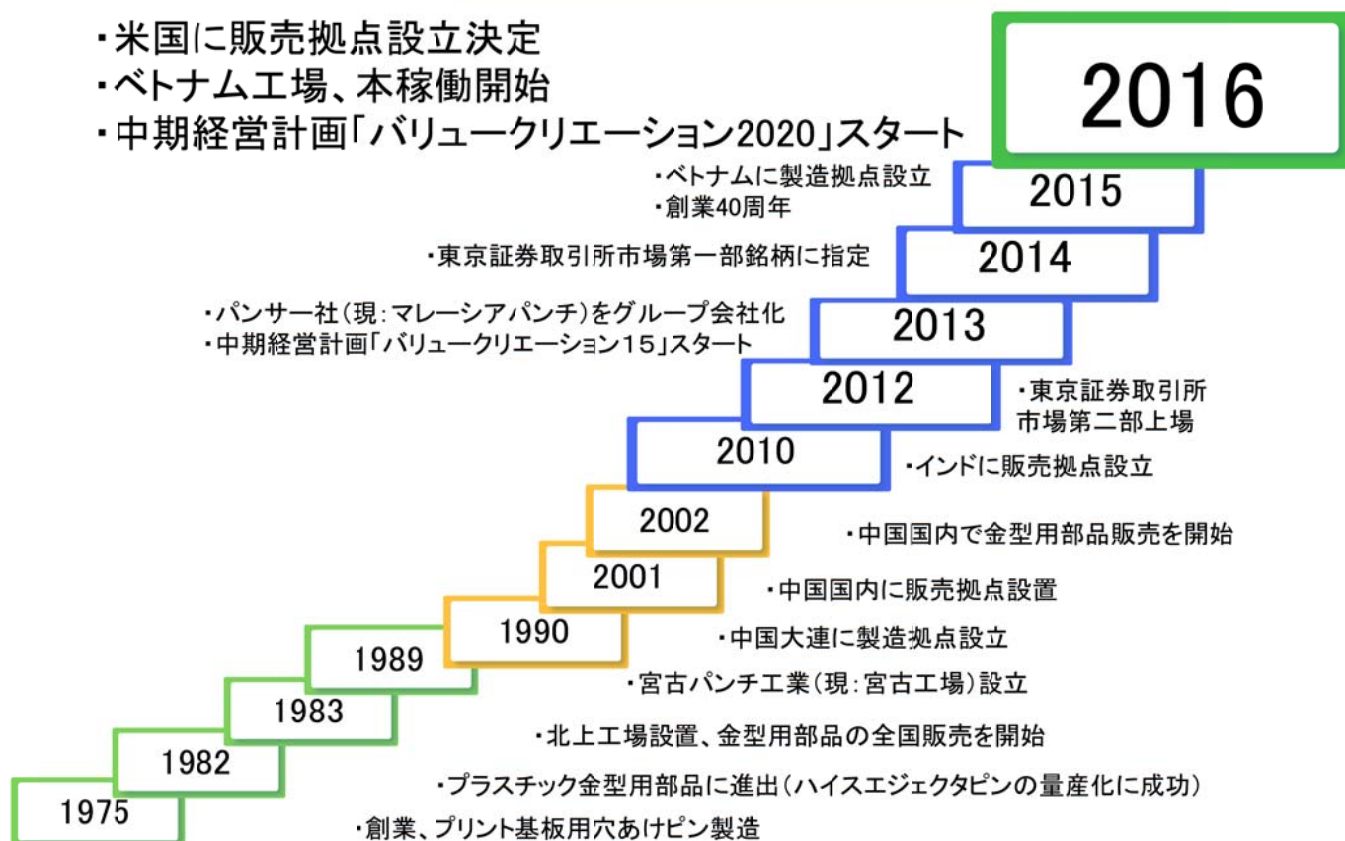
5. 参考資料

会社概要

会社名	パンチ工業株式会社
本社所在地	東京都品川区南大井6丁目22番7号
設立	1975年3月
資本金	28億9,773万円
従業員数	3,836名(グループ連結、2016年3月末現在)
生産拠点	北上工場(岩手県北上市) 宮古工場(岩手県宮古市) 兵庫工場(兵庫県加西市)
グループ会社	株式会社ピンテック(山形市) 盤起工業(大連)有限公司(中国) 盤起工業(瓦房店)有限公司(中国) 盤起工業(無錫)有限公司(中国) 盤起工業(東莞)有限公司(中国) 盤起弹簧(大連)有限公司(中国) PUNCH INDUSTRY INDIA PVT. LTD.(インド) PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD.(マレーシア・ペナン) PANTHER PRECISION TOOLS (KL) SDN. BHD.(マレーシア・クアラルンプール)※ PUNCH INDUSTRY SINGAPORE PTE. LTD.(シンガポール) PUNCH INDUSTRY VIETNAM CO. LTD.(ベトナム) PUNCH INDUSTRY MANUFACTURING VIETNAM CO. LTD.(ベトナム) PT. PUNCH INDUSTRY INDONESIA(インドネシア) PUNCH INDUSTRY USA INC.(米国)

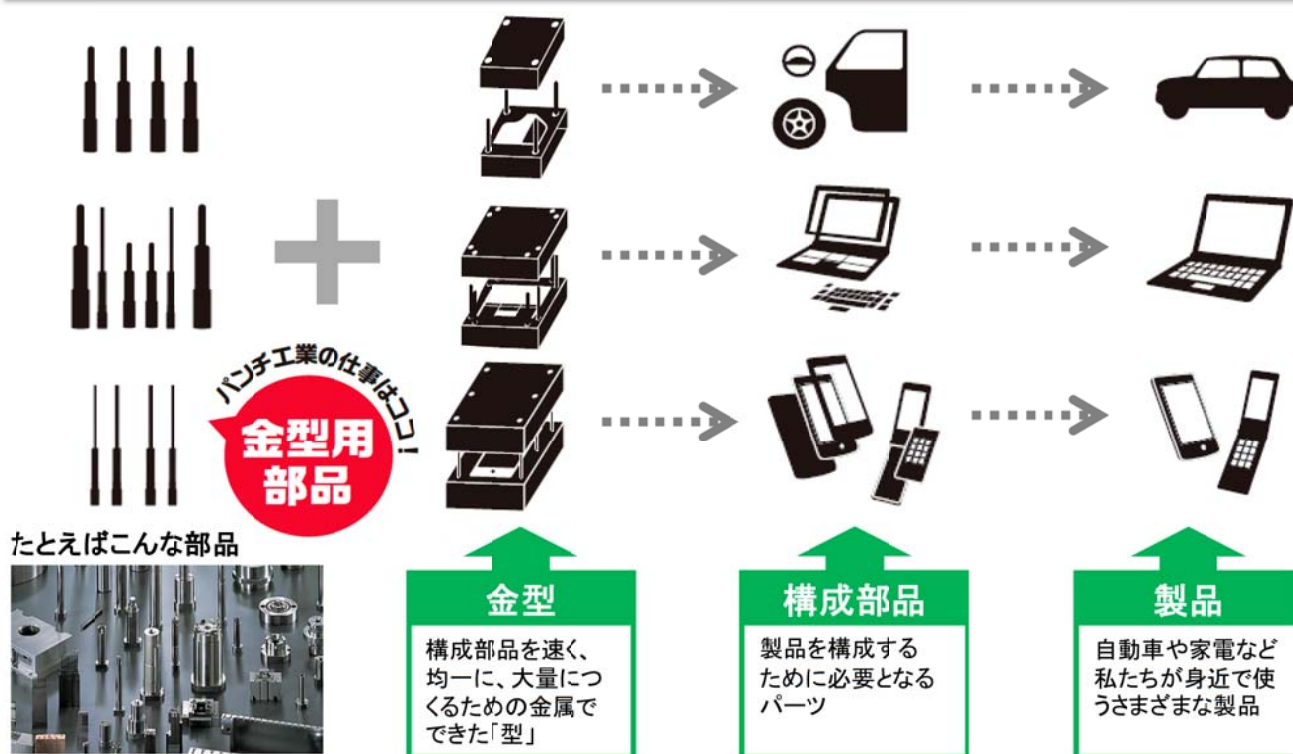
※PANTHER PRECISION TOOLS (KL) SDN. BHD. は、PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD.に事業を移管したため、清算手続中であります。

沿革

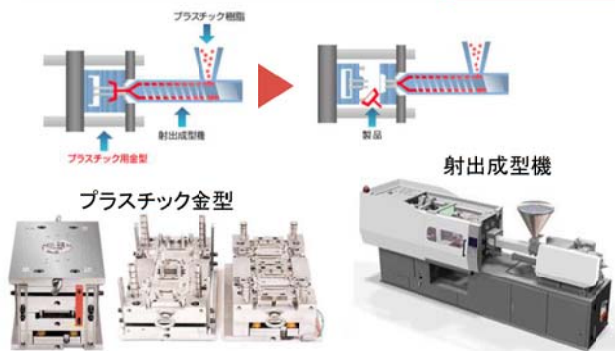


事業内容

金型を構成するために、なくてはならない多種多様な精密部品の製造・販売。



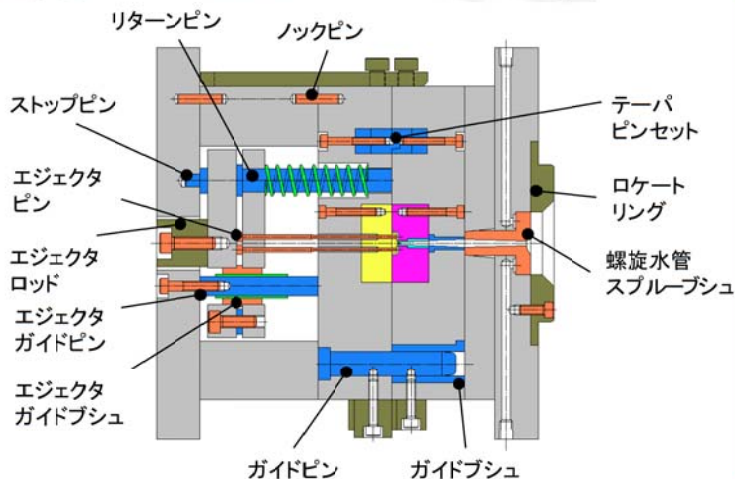
プラスチック金型と金型用部品



エジェクタピン



スプルーブシュ・ロケットリング



●プラスチック金型用部品について

プラスチック金型とは、携帯電話やデジタルカメラの外装など、多くのプラスチック製品の製造に用いられる金型であり、加熱溶融したプラスチック樹脂を、射出成型機に実装された金型に注入し、冷却、固化することにより製品が作られています。

当社グループでは、広範なプラスチック製品の射出成型用金型に組み込まれるエジェクタピン、スプルーブシュ等のプラスチック金型用部品の製造・販売を行っております。

エジェクタピン・・・ 成型品を金型から離し、突き出すための部品

スプルーブシュ・・・ 射出成型機の射出ノズルから溶融したプラスチックを金型へ流し込むための部品

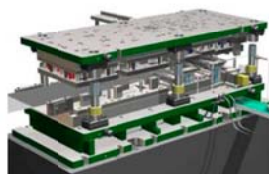
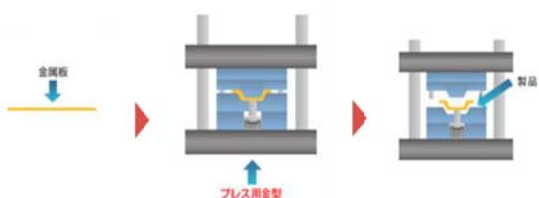


PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

31

プレス金型と金型用部品



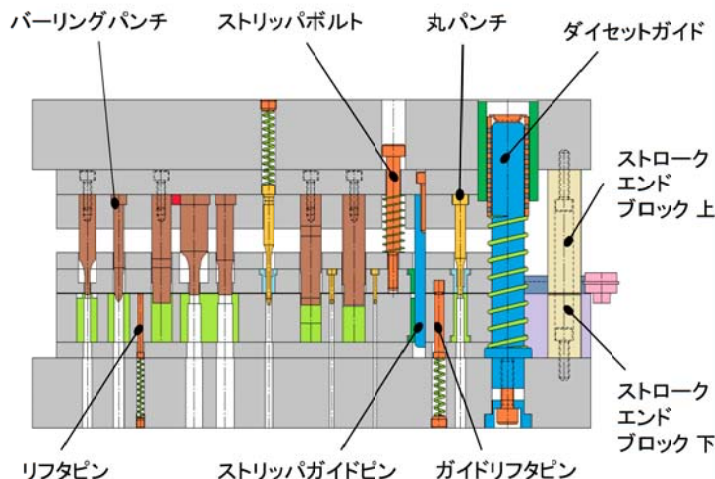
プレス金型



パンチ



ダイセットガイド



●プレス金型用部品について

プレス金型は、プレス機(上下運動する機械)に金型を装着し、上下に分かれた金型の間に材料(金属の鋼板)を入れ、プレス機を稼働することにより、金型で型どられた製品が出来上がります。

当社グループでは、自動車、家電、精密機器などを大量生産するために必要な、プレス加工で使用する金属の鋼板を打ち抜く際に使用するパンチ・ダイ部品、金型の上下の動きを保持するガイド部品等のプレス金型用部品の製造・販売を行っております。

パンチ・・・・・・・・ パンチは材料に推しつけて使われる工具で、通常はダイと対で使われ、材料に穴をあけたり、形状を転写する部品

ダイセットガイド・・・ 上型と下型の関係を正しく保つために使用する部品

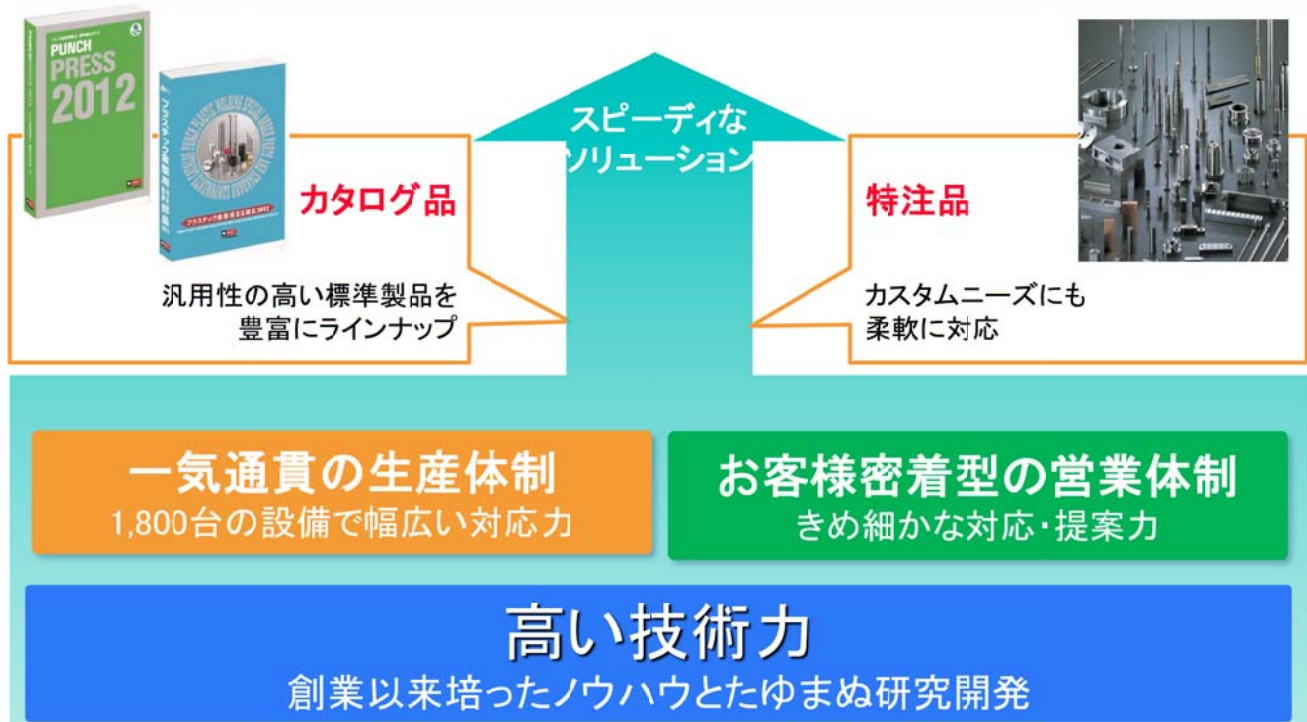


PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

32

お客様に高い満足度を提供



CSR経営と企業ビジョン

CSR経営

世界のものづくりを支える企業であり続けるために
CSR経営を実行しています。

企業ビジョン



世界のパンチへ

金型部品業界での
トップブランドを確立し
製販一体企業としての
優位性を活かした
高収益企業を目指す

ステークホルダーとのコミュニケーション



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

35

本日は、誠にありがとうございました。



【IRに関するお問い合わせ先】 パンチ工業株式会社 総務部コーポレート課 電話：03-5753-3130 e-mail: info-corp@punch.co.jp

【将来見通し等に関する注意事項】

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
 本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。
 また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。